

ROYAL-TIMES



写真=4F庭園のコオニタビラコ (2024年11月10日)

黒い金曜日

岡 聖史
2024年 11月 14日

黒い金曜日(ブラックフライデー)とは、アメリカ発祥の大規模セールイベントで、毎年11月の第4木曜日の翌日の金曜日に行われます。感謝祭の翌日からクリスマス商戦が本格的にスタートするというので、小売店が大幅な割引が行われ、日本でも定着しつつあります。日本には感謝祭はありませんが、“ちょっと早めの年末セール”と言った方が馴染みや季節を感じられるかもしれません。

暦の上ではすでに冬となり、年末を意識する時期になりました。ホームの中でも「1年は早いですね」といった会話が聞こえてくる今日この頃です。皆様も年末の準備を始めている頃かと存じます。

さて、今回は11月11日の介護の日と禅寺丸柿まつりを取り上げてみました。是非ご一読いただけたらと思います。



写真=ハロウィンレクリエーション (2024年10月30日)
ケーキ3点セットと工作で作成したカボチャ



写真= UNIQLOへのお買い物 (2024年 10月9日)
ご入居者様同士で購入品の品定めをされている場面

介護の日 2024

高橋 望
2024年11月9日

11月11日は「介護の日」です。この日は、介護が私たちにとって大切で身近なテーマであることを再認識し、介護について理解と認識を深めるための日として設けられています。「いい日いい日、毎日あったか介護ありがとう」という語呂合わせが込められ、介護を支える方々への感謝の気持ちを表しているのだそうです。

近年、日本では高齢化が進み、多くの人が介護を必要とする時代に突入しています。しかし、それと同時に介護を取り巻く課題も多様化し、現場では人手不足や負担の偏りといった問題が顕在化しています。特に、介護現場では外国人技能実習生の増加も進んでおり、異なる文化や言語の壁を乗り越えて働く姿は、私たちの背筋を正してくれる存在でもあります。彼らが日本を「第二の故郷」と感

じられるよう、職場環境の改善が求められています。

介護の現場は、介護する側とされる側、双方が安全で安心できる環境であることが最も重要です。そこで、周りが気を配り合い、誰か一人に負担が偏らない職場を目指すことが大切だと感じています。このような支え合いの姿勢が、介護従事者の安全・安心につながり、その結果として入居者の方々にも質の高い介護を提供できるのです。また、働きやすい職場環境を整えることで、離職率が減少し、持続的な介護の提供が可能になります。

介護の日を通じて、介護の大切さを改めて考え、私たち一人ひとりが支え合いの精神をもって、介護を「誰もが安心して働き、生活できる場」にする努力を続けていきたいと考えています。

今月のトピック

介護の日2024

禅寺丸柿まつり

委員会活動報告(危機管理)

今季のレクリエーション

禅寺丸柿まつり

岡 聖史
2024年 10月 28日

柿生商店会の一大イベント「禅寺丸柿まつり」が10月18日に開催されました。お越しいただいた方も多いかと思いますが、毎年大勢の人でにぎわうお祭りです。総生会もお祭りに乗じて、健康チェックがおこなえるブースをだしています。更に今年はアルパカや小動物が見られる移動動物園があり、大勢の人が動物に触れ、笑顔がみられました。ロイヤルホームからも職員が参加し、柿まつりの様子を体感しご入居者様をお連れした参加した場合の目安が立ちました。来年からはお連れしてレクリエーションの一つに位置付けたいと考えています。食べ物が多い事、トイレの問題、人の量の問題、職員がマンツーマンで対応が必要な点等を考え、事前に開催日時を把握し、ご入居者様の体調や介助の必要性などを考慮したうえで、安全に楽しめるよう万全の準備を整える必要があります。



写真=柿まつり 総生会で健康チェックを行っている様子 (2024年10月18日)

とはいえ、地元のお祭りですのでご入居者様を含め多くの方が季節感や一体感を味わえるような関わりが重要と考えます。また、お土産を買ってきて飾ることも楽しみ方の一つです。今年は参加者の日焼け程度しかお届けできませんでしたが、次回はご入居者様に形として残るものを持ち帰りたいと考えています。



今季のレクリエーション

今月は、南瓜のお化け「ジャック・オー・ランタン」の工作を行いました。掌よりも若干大きなサイズの卵状の球体にオレンジ色の折り紙を張り付けていきます。そして、魔女のハットをかぶせると奇妙な南瓜ランタンの出来上がりです。今回は、皆さん無言で非常に集中しながら手を動かしていました。

写真= (2024年10月3日 工作レクの場面)

委員会活動報告 (危機管理委員会)

宮井 俊
2024年 11月 8日

危機管理委員会では施設内での①事故とヒヤリハット報告の検証②感染症発生報告③身体拘束実施状況の報告と廃止に向けての検証の三点を中心に月一回運営会議にて議題を提出しております。具体的に①については、月内に発生した事故・ヒヤリハット報告の内容を精査し、再発防止の対策が適正かを話し合っています。②については、月内に発生した感染症の内容の報告と対策が必要な場合の内容の確認を行っています。季節性の感染症が流行する前には施設内の

勉強会を企画・実施しております。③については止むを得ない場合に行っている身体拘束について、入居者様の現状を踏まえて、代替えの方法を含め中止できないか検討しています。上記内容にて委員会を開催し入居者様が安心してホームでお過ごしいただけるように、各スタッフと情報共有を行っています。

(右写真=禅寺丸柿まつりの様子)

VOICE

2024年 10月9日

・皆様はじめまして。事務の池上と申します。10月からロイヤルホームに配属されました。毎日、新たに見聞きすることばかりで、とても新鮮な気持ちで勤務しております。



早く業務を覚えて、皆様のお役に立てるように精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

・皆様こんにちは。ロイヤルホームに勤務して3年になります。この度麻生総合病院へ異動となりました。この3年間笑いあり涙ありの日々でした。



この3年間経験を生かせるように異動先でも頑張りたいと思います。ありがとうございました。

振り返り

岡 聖史
2024年 10月 28日

世界では週休3日制の導入が検討され始めています。日本においても宮城県で導入の話が出ているそうです。産業革命以降、資本主義は富を生み出す基盤を築きました。高度経済成長期には、働いた分だけ豊かさを得ることができました。しかし、生活水準がある程度向上すると、人々は富よりも生活の質や健康を重視するようになりました。週休3日制は、まさにその象徴であり、今後の動向から目が離せません。医療介護の職員も、いずれ週休3日制になるのでしょうか。

